

# 完了報告書

報告日付：2025年4月12日

事業ID：2024003531

事業名：福岡県水巻町における「子ども第三の居場所」  
コミュニティモデルの運営（最終年度）

## 1. 事業内容

### (1) 実績

期間：2024年4月1日～2025年3月31日

（週3日、月曜日・木曜日16時から19時、土曜日11時から16時まで開所）

場所：福岡県遠賀郡水巻町

対象：小学生を中心に多世代を対象

内容：子どもをありのままに受け入れ、子どもの声を聴き、子どもの自己肯定感が育つ活動を行う。料理体験を含む食事支援、多世代のボランティアによる生活支援、学習支援、体験活動を行う。また、水巻子ども支援オフィスと連携した家族支援も行う。

### (2) 成功したこととその要因

- ・モリウミアスの体験活動に参加することを通して料理や自然に触れる貴重な体験活動ができた。
- ・地域で子どもを見守ることを目的にネットワーク会議を継続することができた。
- ・送迎車を準備して居場所への送迎をすることができた。
- ・子ども支援オフィスと連携し、居場所が必要な相談者とその子どもを居場所につなげることができた。

### (3) 失敗したこととその要因

- ・1日の小学生の平均利用者数が目標の15名に届かなかった。  
年間延べ1604人の利用があり1日の平均利用は11人だった。小学生の利用の割合は45%、未就学児の親子の利用は48%、中高生は7%だった。居場所が校区の小学校の通学路から外れていることも要因と思われるが、小学校への情報提供や連携が不足していた。

## 2. 契約時事業目標の達成状況

- (1) 小学生の1日平均利用は5名だった。未就学児の親子や中高生など多世代に参加が広がった。

(2) 地域住民との多世代交流会では6月にバイオリンコンサートを開催し41名の参加があった。12月には餅つきを開催した。



(3) 行政、学校との関係構築のためにネットワーク会議を6回開催し、延べ80名の参加があった。12月にネットワーク会議メンバー4名で水巻町役場を訪問し、地域づくり課、子育て支援課と子ども第三の居場所について共有する場を持った。



(4) モリウミアスのプログラムに参加してオンラインによる子ども料理教室を11回開催した。オンラインによる動画を見て子どもたちだけで準備していく姿に頼もしさと成長を感じられる取り組みだった。苦手な食材も自分で調理したことで食べてみようチャレンジする姿があった。11月には宮城県雄勝町での宿泊体験活動に子ども5名が参加した。





(5) 体験活動を通して、生活習慣・食習慣にどのような変化が見られたのか、保護者からは感想を聞き取ることができた。

(保護者からの感想)

- ・食べれないものがみんなで一緒に食べることで家でも少しずつ食べれるようになってきた。
- ・自分のことが自分でできるようになった。
- ・おもちゃなど、片づけるようになった。
- ・モリウミアスの料理教室に参加して魚の名前などに興味を持ってきた。
- ・モリウミアスに参加して、子ども自身が自分で考えて行動している姿を少し感じてきた。
- ・発達障がいの子が人に慣れてきて成長を感じている。
- ・バイオリンコンサートに参加して、生の演奏を聴くことができてよかった。

### 3. 事業実施によって得られた成果

- (1) 子どものいる家庭の相談支援事業「福岡県子ども支援オフィス」と連携したことで、困難を抱える親子が安心して過ごせる居場所を開催することができた。
- (2) 水巻町やその周辺で居場所づくりをしている団体や行政職員と定期的にネットワーク会議を開催して地域で子どもを見守ることについて情報共有をすることができた。
- (3) チラシを作成してネットワーク会議の様子や水巻町の居場所を紹介することができ、地域住民や小中学校に居場所を知ってもらうことができた。地域の方から畑で採れた果物や野菜の寄付をいただくこともあった。
- (4) モリウミアスのプログラムに参加したことで子どもたちの自己肯定感が育まれ、スタッフは子どもの力を信じて見守ることの大切さを学ぶことができた。



#### 4. 活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

現在の居場所の立地が通学路上にないことや車道に面していることから、もっと小学生が安全に利用できる居場所の立地が課題であり、移転も含めて検討していく。

以上

